

リウマチセンターだより

～当センターとの連携施設のご紹介です～

第1回目：上都賀総合病院

上都賀総合病院は栃木県鹿沼市の中心部に位置し、病床数は352床、職員数512名、常勤医師数55名、栃木県西部保健地域における唯一の総合病院です。当院のリウマチ膠原病内科は、部長（日本リウマチ学会リウマチ指導医／評議委員）以下4名の常勤医が日夜リウマチ性疾患の診療に邁進する、日本リウマチ学会認定研修施設です。

我々の施設では、患者さんの全身、さらに社会的背景まで視野に入れた全人的医療の実践をもっとも大切に考えています。リウマチ膠原病内科は、「免疫異常を有する人々のための総合診療科」とでもいうべき性格を持っています。人体は臓器の寄せ集めではありません。多くのシステムや臓器が密接に連関して生命活動を営んでいます。特に膠原病やリウマチ性疾患の特徴は、多臓器／多系統に多種多様な病変を認めることにあります。そのため、自己免疫、あるいは自己炎症というキーワードを手掛かりにして、全身の病態の連関を洞察する能力が必要です。

我々は、こうした総合診療科的側面を特に重要視し、リウマチ専門医としての専門性もさることながら、広い視野を持った診療態度と医師の養成を心がけています。幸いなことに当科はあくまでも内科の一部門として機能しているため、膠原病に限らずあらゆる領域の疾患について、全ての医師が十分なトレーニングを積んでいます。

栃木県西部において、あらゆるリウマチ性疾患の患者さんに幸福な人生を歩んでいただけるように努力してまいります。よろしくごお願い申し上げます。

上都賀総合病院 花岡 亮輔



～季節のアドバイス～

インフルエンザウイルス感染が心配な時期になりましたね。予防接種をして、インフルエンザの予防をしましょう。

予防接種の効果は日本国内の病院であれば同じです。お近くのかかりつけの病院で、予防接種を受けましょう。

A decorative Halloween-themed illustration featuring a witch on a broom, pumpkins, a castle, and a crescent moon.